

大英帝国下の植民地政策と現代の映画産業

五天滉介^{†1}, 大江秋津^{†1}

キーワード : プロパガンダ映画政策, 英国植民地, 刷り込み理論

1. はじめに

イギリスはかつて大英帝国として権力の拡大を目指し、世界中に多くの植民地を保有していた。このような宗主国にとり、メディアを通じたプロパガンダは統治の上で重要な課題であった。映画は特に視覚的・聴覚的要素に加え、娯楽的な要素が強いことから多くの宗主国でプロパガンダ映画政策が行われていた。本研究では、植民地下におけるプロパガンダ映画政策が、国家独立後の映画産業に与える影響を実証することを目的とする。

2. 理論と仮説

イギリスにおける植民地統治の目的は植民地からの富や資源の効率的な搾取であり、そのためには植民地にある既存の政治構造を破壊し、イギリスに有利な社会システムや文化的価値に入れ替える必要があった(Okome, 1996)。よって近代技術の象徴とも言える映画は植民地主義的な思想を植え付けるのに有効な手段であったとされている。

イギリスのプロパガンダ映画政策の影響を受けた例として Gold Coast 植民地(現: ガーナ)が挙げられる。Gold Coast では 1927 年に初めてプロパガンダ映画が公開され、その後上映機材を詰んだ車 Cinema Van を用いて農村を含めた幅広い地域での映画公開が行われた (Rice, 2019)。その結果 1941 年には約 15 パーセントの国民にプロパガンダ映画の公開が行われたとされている(Smyth, 1979)。また 1949 年には植民地映画製作機関 Colonial Film Unit(以下:CFU) が設置され、英語に関する教育映画や長編コメディ映画・ニュース映画など幅広い映画が作成されただけでなく、プロパガンダ映画の作成技術や効果的な公開方法の伝授が行なわれた(Rice, 2019)。

これらのプロパガンダ映画政策はアフリカに限らずアジアやカリブ海などでも行われた。拠点となる国に CFU を設置することで、その周辺地域にあった映画製作・公開が行われた。カリブ海にあるジャマイカでは Jamaica Film Unit が設立され、ジャマイカに加え周辺 3 カ国から学生を集め、映画製作技術の伝達や映画の共同製作が行われた(Francis, 2011)。またジャマイカでは植民地で製作されたにも関わらず高い評価を受け 1954 年のベルリン映画祭で公開されるような作品も存在した(Francis, 2011)。

このようにイギリスが行ったプロパガンダ映画政策は、多くの植民地の映画産業草創期に影響を与え、現在の映画産業の発展に関わっていると考え分析を行った。

3. データと分析手法

本研究では、現イギリス海外領土を含めた 67 カ国を対象に分析を行った。分析手法は、有意差検定の一種である Brunner-Munzel 検定を行った。独立後の映画産業に関するデータは IMDb から取得した。植民地映画と CFU に関するデータはデータベースである”COLONIAL FILM MOVING IMAGES OF THE BRITISH EMPIRE”と論文である”Making Films in and for The Colonies”から取得した。

4. まとめ

分析を行った結果、植民地映画を多く公開した群と CFU が存在した国の群では、そうでない群に比べて現在の映画製作本数が多いことが実証された。

本研究には理論的貢献と実務的貢献がある。理論的貢献は、植民地時代の宗主国によるプロパガンダ映画を用いた刷り込みが、現代の映画産業の発展に貢献していることを実証することによる刷り込み理論への理論的な貢献である。実務的貢献は、本研究はイギリスのプロパガンダ映画に関するデータを用いた研究である。既存の映画産業に関する研究とは全く異なる立場をとっており、歴史的な埋め込みを実証するための研究となっている。

謝辞

本研究は日本学術振興会の科学研究費補助金(挑戦的研究(萌芽) 20K20763)の支援により実施された。

参考文献

- [1]Francis, T., “Sounding the Nation: Martin Rennalls and the Jamaica Film Unit, 1951—1961.” *Film History: An International Journal*, Vol.23, No.2, pp.110-128,2011
- [2]Okome, O., “The context of film production in Nigeria: The colonial heritage.” *A Journal of African Studies*, Vol.24, No.2-3,1996
- [3]Rice, T., “Films for the Colonies: Cinema and the Preservation of the British Empire.” *University of California press*, 2019
- [4]Sellers, W., “MAKING FILMS IN AND FOR THE COLONIES.” *Journal of the Royal Society of Arts*, Vol.101, No. 4910, 1953, pp.829-837
- [5]Smyth, R., “The Development of British Colonial Film Policy, 1927-1939, with Special Reference to East and Central Africa.” *The Journal of African History*, Vol.20, No.3, pp.437-450, 1979

^{†1} 東京理科大学